

## 令和7年度第1回 羽曳野市地域包括ケア推進委員会（議事概要）

### 【 開催日時、場所 】

- ・日時：令和7年7月1日（火） 14：40～15：35
- ・場所：羽曳野市役所 A棟中東会議室

### 【 出席者等 】 ※敬称略

- ・第9期委員：和泉京子、調子和則、木下佳、大友友希、上田正行、堀脇芙美子  
山下勝己、上野美紀、徳村初美、中山麻紀、浦田崇
- ・事務局：保健福祉部 田中 尾久  
地域包括支援課 田中 竹内  
高年介護課 横濱 辻本  
西圏地域包括支援センター 嶋田 池野  
中圏地域包括支援センター 大田 赤穂  
東圏地域包括支援センター 尾本

### 【 議題 】

1. 委員長挨拶
2. 羽曳野市地域包括支援センター運営方針の策定について
3. 令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画
4. 介護予防ケアマネジメント業務の委託契約事業所の承認について

### 【 配布資料 】

- ・羽曳野市地域包括支援センター令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画（事前配布資料）
- ・会議次第
- ・令和7年度介護予防サービス計画作成委託契約事業者一覧
- ・地域包括支援センター自己評価票
- ・羽曳野市地域包括支援センター運営方針
- ・地域包括ケア推進委員会要綱

### 【 議事概要 】

1. 事務局（司会）  
挨拶、欠席者の報告、資料の確認等
2. 「配布資料及び会議次第」に沿って事務局、各圏域地域包括支援センターより説明・報告
  - ・羽曳野市地域包括支援センター運営方針
  - ・令和6年度事業報告（決算報告）及び令和7年度事業計画（予算計画）
  - ・介護予防ケアマネジメント業務の委託事業所の承認について

#### 3. 質疑応答

委員：相談件数が徐々に増えてきていることは、それぞれの圏域にセンターが配置されたことで相談体制の充実に繋がっていると推察される。一方でランチの相談件数は少なくなっており、ランチの位置づけや今後の方向性は？

事務局：在宅介護支援センターにランチ業務を委託しており、以前から地域に根差した活動されている。

件数には表れない地域の活動に参加しており、今後もランチ業務を担っていただき、センターとともに地域に関わっていただく方向である。

委員:介護保険等推進協議会において、第9期高年者いきいき計画における認定率の予測が、計画していたよりも認定者数が多いという報告があり、要支援1と2が増えてきているのは介護予防が不十分で行き届いていないのではないかと考えられる。大阪公立大学上村先生の研究報告では、いきいき百歳体操に参加されている群と不参加群では有意差をもっていきいき百歳体操の有用性が証明されている。この点を踏まえて、参加率が地域によって2.2%~9.2%とばらつきがある。介護予防の観点からどれぐらいの参加率が必要と考えているか？

事務局:参加率の目標は定めておりません。地域のよっては坂が多いなどで通う手段が無い、近くに開催場所が無いなどの問題があり、現在はいきいき百歳活動の空白地域を減らすために、地域包括支援センターやセンターに配置している生活支援コーディネーターとも連携し、活動団体の継続支援や地域の担い手を発掘し新たな立ち上げを支援するなど力を入れております。

委員:介護予防サービスを利用するのも良いとは思いますが、まずは高齢者ご自身で介護予防に取り組むように、地域の活動に参加するなど役割を持つこと、それによって生活の幅が広がるなど考えられるため、引き続きいきいき百歳体操など介護予防を充実させてはどうか。

事務局:先ほど認定率というお話もありましたが、今後高齢化が進行する中課題と捉えている。介護予防についての市民への啓発が十分できていないと考えているので、介護予防の充実をセンターと協働して取り組んでいきます。

委員:いきいき百歳体操の評価について、小学校区別でどうか、他の一般介護予防事業の影響はどうかなど総合的に捉え直していただければと思います。